



2019年度
西山小学校
学校だより

杉

第46号
2020年3月23日(月)

文責：笠原 聡



教育目標 ～ 深い雪にも耐え 大空に向かって たたくまっすぐ伸びる 西山の杉のような子どもを育てる

一番の思い出&感謝の言葉～「贈る言葉」より～

新型コロナウイルス感染症対策のため、卒業式は短縮しての実施となりました。そのため、卒業生と在校生で行う「贈る言葉」の呼びかけも、省略することとしました。

そこで、以下に、「贈る言葉」の一部である卒業生の「一番の思い出」（上段）と在校生の「感謝したい心に残った卒業生の姿」（下段）を紹介します。

伊藤 快飛さん

ぼくが一番学んだことは、ケガをしたことで、健康の大切さや感謝の気持ちの大切さです。

これからは、健康に気をつけ、感謝の気持ちを忘れず、中学校でがんばります。



スポーツが得意で、ぼくたちのあこがれだった快飛さん。

休み時間には、ぼくたちと一緒にたくさん遊んでくれました。

校庭を走ったり、ボールを投げたりする姿がとても格好よかったです。

鈴木 綾佳さん

わたしの一番の思い出は、修学旅行です。

友達と協力し楽しく過ごせたからです。これからも、たくさん友達をつくり、楽しい中学校生活を送りたいです。



どんな時も、わたしたちを支えてくれた綾佳さん。

委員会活動では、仕事の内容を分かりやすく教えてくれました。

登校班では、わたしたちが安全に登下校できるよう声をかけてくれました。

天野 玲菜さん

わたしの一番の思い出は、鼓笛です。

はじめは指揮者としてまとめることができなかつたけれど、最後の鼓笛では、みんなで協力して素晴らしい演奏ができました。



いつも明るくわたしたちをリードしてくれた玲菜さん。

そうじや給食では、やさしく声をかけながら、仕事の仕方を教えてくれました。

鼓笛では、指揮者として、わたしたちの演奏を一つにまとめてくれました。

伊藤 愛依さん

わたしの一番の思い出は、運動会のつなひきです。

みんなで協力して、最後の運動会で優勝できたからです。



いつもやさしくたくさんのことを教えてくれた愛依さん。

困ったことがあると、いつもやさしく相談にのってくれました。

クラブでダンスをする姿は、いつも輝いていました。

人事異動の連絡について

すでに連絡しましたとおり、今年度の離任式は行いません。

今年度末の人事異動については、新聞でご確認いただくか、本校のホームページをご覧いただければと存じます。なお、ホームページには、明日24日(火)の午後に掲載予定です。

◎ホームページアドレス yanaizu.fcs.ed.jp/西山小学校 (「やないづ教育ねっと」でも検索可)